

議会意見交換会報告書

令和元年11月3日

多摩市議会議長 殿

報告者.....遠藤ちひろ.....

議会意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和元年11月2日(土曜日) 14時00分 から 16時00分 まで	
開催場所	関戸公民館 大会議室	
出席議員	担当委員会	総務(松田、板橋、安斉、しのづか、藤條、あらたに、折戸)
	司会	松田
	記録・報告	遠藤
	その他議員	
参加人数	6名	
意見交換の内容等	<p>テーブルテーマ：市庁舎建て替え</p> <p>・防災面</p> <p>一 既存地域は大栗川と多摩川に挟まれている。今回の水害を受けて防災拠点でもある庁舎は高台にあるべき。</p> <p>一 関戸2丁目の持ち家だったので今回は浸水を覚悟した。地域住民としては浸水予想地域の不安を解消するためにどういうことをするのか。聖蹟桜ヶ丘が水に浸からないように、水の流れを変える方法を考えてもらいたい。</p> <p>一 東日本大震災では市庁舎が津波被害を受けて機能喪失した。議会は建て替えスケジュールをどうみているのか</p> <p>一 市民は本庁に足を運ぶ機会などほとんどない。出張所でほとんど間に合ってしまうのであれば高額な本庁や広いスペースは不要ではないか。</p> <p>・地域活性化と商店街要望</p> <p>一 庁舎は集客性も高い。現庁舎の位置は多摩センター、永山、聖蹟桜ヶ丘の3拠点の中心に位置するので商業従事者から見ても公平でもある。</p> <p>一 かつての聖蹟桜ヶ丘の賑わいを取り戻す装置としての市役所にも期待している。</p> <p>一 パルテノンや図書館など多摩センターには非常に多くの投資がなされており、聖蹟からみると偏りが著しい。</p> <p>一 図書館にも公共ホールにも街の賑わいと情報が交流するようなフリースペースが不可欠。市庁舎にもそのような機能がなければならない。</p>	

・アクセス面

- 一 駐車場確保が不可欠だが、現在地ならば用地買収が不要である。
- 一 健康センターは聖蹟桜ヶ丘にあたり、教育部門と本庁舎が分散しているという課題は議会も認識している
- 一 市役所は60年以上続けて使う。例えば30年後に市役所業務が今の規模とニーズと同じなわけがない。オンライン化も進むし人口もかなり減っている（福祉ニーズなど窓口業務はオンライン対応になるのではないか）。
- 一 中間地点というのであれば永山がよいのではないか。
- 一 多摩センターは八王子寄り。聖蹟桜ヶ丘は日野府中寄り。であれば、高台で睨みを利かせる現在地が良い。
- 一 出張所は各地にある。本庁に足を運ぶ市民は少ないのだから本庁の駅前アクセシビリティを重視する必要は低い

議会意見交換会報告書

令和元年 1 1 月 7 日

多摩市議会議長 殿

報告者.....山崎ゆうじ.....

議会意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和元年 1 1 月 2 日（土曜日） 1 4 時 0 0 分 から 1 6 時 0 0 分 まで	
開催場所	関戸公民館 大会議室	
出席議員	担当委員会	生活環境（岩永、斎藤、岸田、橋本、池田、藤原）
	司会	岩永
	記録・報告	山崎
	その他議員	
参加人数	6 名	
意見交換の内容等	<p>テーブルテーマ：廃プラスチック問題</p> <p>1. 家庭でプラごみを無くす工夫をしているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの容器はプラが多く減らすアイデアが見つからない ・きれいに洗わないとリサイクルできないが、どこまできれいにしていかが分からない ・プラごみを洗うと水質汚染にもつながるのではないか ・汚れがひどいもの、ラー油などは落ちないので燃やすしかない ・エコバックは利用しているが、忘れた場合指定ごみ袋を購入し利用している ・ごみ分別に当てはまらないものが多く困るプラスチックと金属が一体の物はどうすればいいのか？ ・ごみの分別基準が分かりづらい 子どもに分かりやすい基準を作り子どもを巻き込むことが重要 ・子どもの方が細かくて大人よりうるさい ・今の若者、子育て世代は環境問題を学んでいないため問題意識がない ・職場ではプラごみが大量に捨てられているため胸が痛む 自分達の小さな努力が無駄に感じる ・主婦は色々と工夫するが若者たちは無関心 問題を実感させるのは難しい ・学校でのストロー使用をやめるなどの取り組みが市民全体に広がらない ・プラごみを高く買い取る海外へ送られていることに憤りを感じる ・昔のような量り売りで紙袋利用に戻るべき 	

2. 今後どのような取り組みをするべきか？

- ・スーパーなどでレジ袋は欲しいと言わなければ渡さない→意識改革につながる
- ・個人商店を中心に量り売りを広げる
- ・コンビニがプラごみを一番発生させている
- ・レジ袋を有料化するなら紙袋にしてはどうか
- ・3Rのアプリが浸透していない
- ・それぞれ色んな工夫をしているが頑張っている人とそうでない人がいるみんなで意識していかないといけない
- ・学校で教育するべき
- ・小中学校では環境について教育している若者から親世代が勉強が必要
- ・大学在学中に多摩市に住む大学生への教育が必要
- ・主婦が頑張るのはお金に関わるからごみ処理にかかる費用、リサイクルすると得られる金額をごみ捨て場などに分かりやすく提示してはどうか
- ・団地ごとに生ごみプラごみのリサイクルができないか
- ・徳島県上勝町ではごみを燃やす場がないからごみ分別に力を入れほとんどのごみをリサイクルにしている
- ・企業が物を生産する時点で原料にプラを利用しないという方向にもっていかなければ解決しない
- ・SDGsの目標に沿った市の取り組みを期待する
- ・議員に頑張ってもらいたい

議会意見交換会報告書

令和元年11月11日

多摩市議会議長 殿

報告者.....安斉きみ子.....

議会意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和元年11月10日（日曜日）14時00分 から 16時00分 まで	
開催場所	永山公民館 ベルブホール	
出席議員	担当委員会	健康福祉（三階、きりき、いぢち、大野、渡辺、遠藤）
	司会	三階
	記録・報告	安斉
	その他議員	
参加人数	5 名	
意見交換の内容等	<p>テーブルテーマ：大人のひきこもり</p> <p>*委員6人が自己紹介、その後市民参加者5名が自己紹介</p> <p>三階： 大人のひきこもりがテーマだが、それに限らず話し合いをして欲しい。 健康福祉常任委員会は、8050問題（80歳の親が50歳の子どもを見る）などを課題にして、決算審査でも取り上げ、多摩市の状況を調査し、進んだ自治体の視察もした。 本日は資料として多摩市で行っている相談会の案内や「しごと・くらしサポートステーション」など、また東京都の相談案内も用意した。 多摩市でも親が立ち上がり唐木田で集まりを持っている。</p> <p>Kさん：私も80歳。45歳の子どもと住んでいる。子どもが安定しない仕事に就いていて自立できない。子どもがどうなるのか心配。</p> <p>Oさん：息子の友人に仕事が続かない友人がいる。その友人は45歳、そのお父さんは85歳ぐらい。お父さんよりも本人が面接もうまくいかないかと心配している。</p> <p>Gさん：診療内科で働いている。ひきこもりの事情はいろいろある。薬ではどうしようもない。社会が受け止め、周囲がどう働きかけるかが大事。</p> <p>Iさん：ひきこもってはいないが、自立できていない人は多い。ひきこもりは弱い人たちではなく、一人ひとり違うので一人ひとりに寄りそうことが大事。</p>	

委員：自立のイメージをみなさんはどう捉えているのか？

- *親に不足がある訳ではないが、仕事に失敗して再就職が難しいのではないのか？
- *就職氷河期の問題と40代の話など出された。

Sさん：川崎市で例の事件があった。犯人がひきこもりだったと言うがひきこもりのせいだけではないと思う。みんなからそう見られることに危機感を感じた。

40代、50代で苦しい状況に陥る理由は若い人の雇用の問題ではないのか？

委員：もしみなさんが不登校問題を抱える人や生活に困窮している人を知っている場合に、みなさんがご本人やご家族などに都や市のこうしたパンフを薦める気になるか伺う。

Sさん：ひきこもり経験者が「こうしたら良かった。不安がなくなった」などの体験談とかを紹介すれば、相手の心が動くかも知れない。

Kさん：とりあえずこれらのパンフを使って話をしてみようと思うが、「またか」と思われるのではないかと（すでに周りからも言われているので）

委員：ひきこもる人たちに対して、障がい者支援、就労支援、定着支援などはあるが、その人の10年後、20年後が心配。精神疾患者が長期入院から地域での暮らしに移行することはテーマではあるが、事業としては自立支援医療や発達障害の発見や教育への導きがあると思うが、何ができるか探りたい。

委員：4つのパンフを資料として用意したが、その中の「しごと・くらしサポートステーション」の場所がわかりづらい。せっかく民間の専門家を入れた相談事業なので入り口をもっと分かりやすくすべき。

ひきこもりの家族会もあり、体験談も聞けるが、家族会には行けないという人もいる。専門家がいる「しごと・くらしサポートステーション」を周知していくことが必要。

委員：家族会の活動は大変有効だと思った。家族会は率直な悩みを話せる場である。家族がつながること。ひきこもりを克服した人がコーディネーターとなり、本質に向き合って支援していることも学んだ。

Gさん：ひきこもりにマイナスイメージを持たないことが大事。ひこもり家族を支援してくれる制度が必要。大切な人材を社会で孤立させてしまった。そんな人を大きく包み込むようにしたい。

Kさん：ひきこもりの人に対して、話ができる人、悩みをあらわにしても聞いてくれる人があれば解決策が見えることもある。そういうシステムがあればいい。

Sさん：ひきこもりの人には家族をつくらない人もいる。でも家族がいれば何かのきっかけで動き出すこともあるかもしれない。

Kさん：民生委員は高齢者宅を訪問する。その家族にひきこもりの子どもがいれば、相談案内などのパンフを渡すことも良いのではないかと。

委員：ひきこもりのテーマで秋田県を視察。藤里町ではひこもり相談サービスのチラシを各戸に配布している。ひきこもりを対象としたデイサービスもあった。

委員：どこでも当時者はなかなか相談はしない。家族の熱意にかかっている。踏み込みづらいが第一歩は相談機関になんとか繋げること。そして民生委員や社協などや専門家を待つことである。

Gさん：4つのチラシは一生懸命につくったものではあるが、相手の気持ちに添い、相手を引き付けるものでなければならない。アドバイスを入れたチラシ、マイナスイメージを与えないパンフが良い。

委員：視察した秋田では「あなたの力を貸して欲しい」「手伝ってほしい」というメッセージがあった。

*その他ひきこもりには男性が多いこと、コミュニケーション能力は女性が高いなど話題になった。

*最後に発表者Sさんから報告。

大人のひきこもりは就職氷河期で挫折をして社会の犠牲者になったからではないだろうか？ひきこもりの人は自分の思いに共感してくれる人を欲しがっている。その対応は難しいが、「心配や不安を聞かせてください」との声かけが大事。この4つのパンフで心を開いてくれるだろうか？と話あった。相談案内のチラシの内容をぜひ心を引き付けるものにして欲しい（そうなるよう検討していただきたい）。家族会の効果についても大きい。ひきこもりの体験者が語ることも大事。自分の家族を見直すきっかけにもなる。

結論としては「ひきこもり」＝マイナスのイメージを持たないこと！あきらめないこと！寄り添うこと！と思った。

議会意見交換会報告書

令和元年11月12日

多摩市議会議長 殿

報告者.....橋本由美子.....

議会意見交換会の結果について、次のとおり報告します。

開催日時	令和元年11月10日（日曜日）14時00分 から 16時00分 まで	
開催場所	永山公民館 ベルブホール	
出席議員	担当委員会	子ども教育（いいじま、大くま、岩崎、本間、しらた、山崎）
	司会	いいじま
	記録・報告	橋本
	その他議員	
参加人数	7 名	
意見交換の内容等	<p>テーブルテーマ：妊娠期から18歳までの切れ目のない子育て支援</p> <p>いいじま 子どもの健やかな育ちを支えるための保護者への支援。 こどもたちの生きる力を育てる 切れ目ない支援を考え決算委員会でも調査論議をした。 教育センター 子ども家庭支援センター 健康センター・・・3つ施設の事業を評価した どうして参加した等お聞かせいただきたい。</p> <p>A こうした施設を利用できない保護者が多い、3カ所は働いている人は利用できない。学童クラブの先生の処遇改善を求める陳情などが子育てがらみの5つの陳情が、不採択になった理由が知りたい。</p> <p>B 教育センターの相談は利用してよいと思った。特別支援のクラスのあり方、普通クラスの先生のやり方についていけない。巡回相談にも行った。薬を飲んだらどうか等を聞かれたが、薬で対応するのはやって欲しくない。</p> <p>C 地域の人とつながるツールが欲しい。いろんな世代の人と関わりたい 地域の方に応援をお願いしたい。親子に地域の方が関わって欲しい。それを多摩市の売りにして欲しい。児童館や保育園、学童以外のところが欲しい。商店街の空き室などを使いたい。</p> <p>D たまっこなどにもかかわっている。一時保育で子どもは預かるがお母さんを支える場所がない。子育てにいっぱいいっぱいになっている人へのアドバイス、お母さんを支える場所が欲しい。</p>	

E 子育ては妻に任せっきり。子育ての交流の場がほしい。高齢者は場所があるが子どもはない。

F 学校の教員の異動が早い。管理職は3年、普通でも4~5年。地域教育支援力をたかめたい。地域の方は引っ越す以外そこいるので力を出すことできる。大松台小学校の校長と親しい、学び合い育ちあいで一緒だった。子どもたちの立ち入り禁止の場や空いているところでヒマワリ・レンゲを育てることをやっている。レンゲは刈り取った後肥料になる。サステナブルな社会を育てると思う。

G 漢字のならう順番をみんなの希望の順番でやりたい。教科書順にやっているがもっと自由にやりたい。

A 少人数クラスはよいと思うが、成績順でできないクラスだなどと思っている保護者がまだいる、本当の意味を理解してほしい。

G 学習発表会 劇の中で音楽をやりたい。みんなで同じことを同じ時間に一斉にやらなくてならない。(不満)

本間 その事を先生に話したことはありますか？

B 先生にはよく話している。

いいじま 陳情については後で話したい。(Aさんに・納得) Bさんのお話の発達支援室への要望は伝えておきます。

C 聖ヶ丘は児童館がない。聖ヶ丘商店街通路で遊んでいる。大谷戸公園へ行くのは大変。コミセンのまえの広場で自由にやらせたい。地域のつながりで理解してもらえる。宿題も自由にやれる場所がほしい。

A 豊ヶ丘地域では水曜日放課後子ども教室やっている、貝取はできていない。親は相談できる場所、子どもは遊べる場所をつくってほしい。

F 商店街のシャッターに絵をかいてほしい。描かせてほしい。

A 青陵中は貝取の商店街に絵をかいた。できるのではないか。

いいじま お母さんへの支援どうしたらよいか。

B お節介の場、ふらっと立ち寄れる場がほしい。(複数声あり)

A 商店街また、学校空き教室など使えるように。気軽に行きたい。行けば誰かがいるという感じで。

C 子育て支援場所がほしい。

B 悩みを口に出せる場がほしい。

? 児童館も地域によって違う、一ノ宮は30組の親子がいて活発だった。

C 地域の支援力をだしてほしい。

A 多摩市は？いろいろなメニューがあり、市民はチョイスすればよい。買い物の帰りに気軽に寄れる場所。相談に行くのではなくちょっと立ち寄れる場所を。

B 親が語れる場 親子カフェをはじめている。（関戸）

本間 青少年問題協議会でも話している。気軽に立ち寄れる場が必要なかもしれませんがね。

岩崎 気軽にあつまれる場所が欲しい。世田谷の桜丘中、校庭、園庭などの開放もある。

A コミュニティスペースを中学校区ごとに発展させたい。

（以後休み時間中の複数による雑談は書いていません）

発表
親が気軽に話せる場がほしい、商店街、空き教室などを積極的に利用できるように。